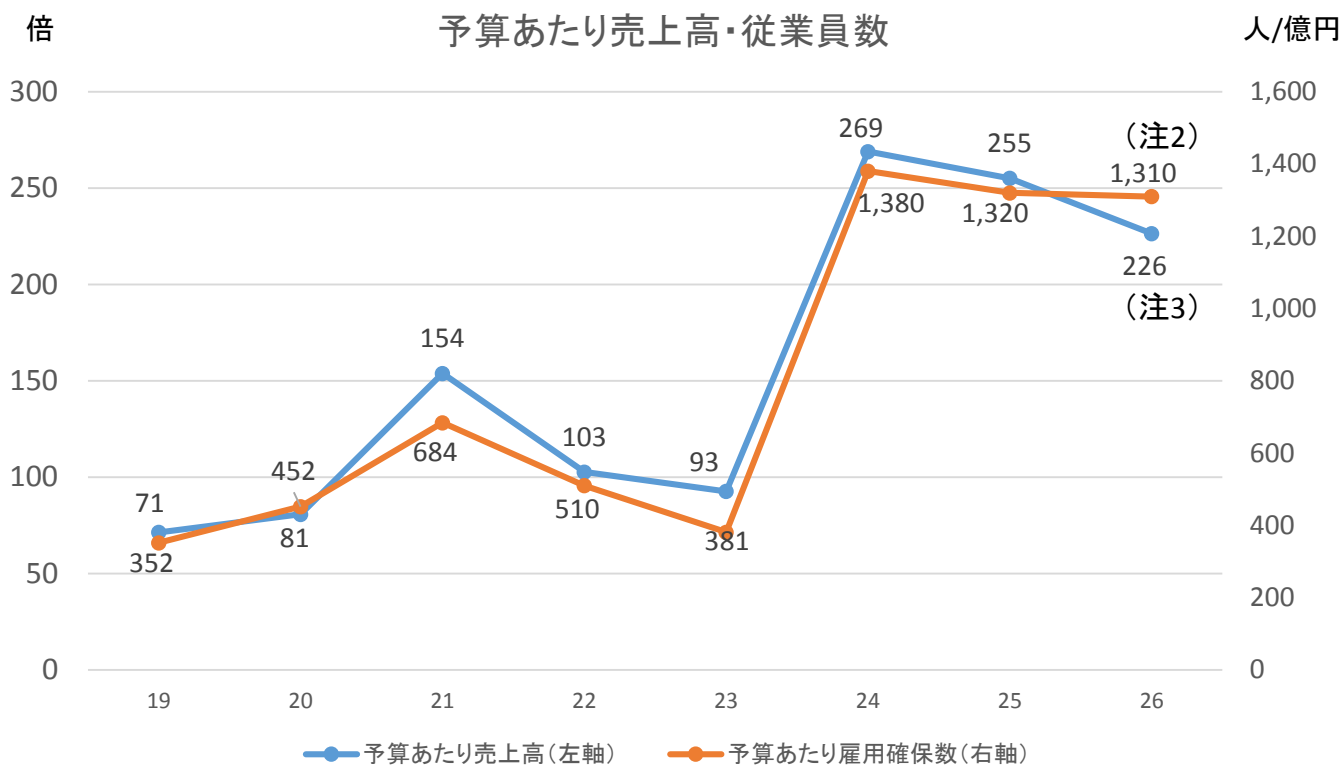


## 2.6.3 予算あたりのアウトプット(その他)

- 前項2.6.2では件数をアウトプットとして想定したが、企業規模等を加味するため、本項では支援企業の売上高と従業員数をアウトプットとして効率性(アウトプット/インプット)を示す<sup>(注1)</sup>。



注1: カット案件は支援協の支援がなかったら被支援企業の売上や雇用が遠からず消失していた蓋然性が相対的に高く、リスケ案件は相対的に低い。そのため、本来は両者を異なるウェイトで評価するのが合理的だと考えられるが、上のグラフではそういう要素は考慮されていない。

注2: 平成26年度の数値1310は、「予算投入1億円当たり1310人の雇用維持」=「予算投入7.6万円」で1人分の雇用維持効果を示している。

注3: 平成26年度の数値226は、「1億円の予算投入で、売上高合計が226億円に相当する企業の継続を支援」したことを示す。なお、この数値に付加価値率を乗じると、「1億円の予算投入で維持された企業の年間付加価値額」が試算できる。

訂正: 初版は支援企業の売上高の集計に誤りがありました。なお、平成19年度の集計開始以降の二次対応完了企業の売上累計は5兆9739億円となっております。お詫びして訂正いたします。